

# 闘い築いた半世紀 レジェンド北林さん語る

## 多摩西部

【多摩西部・書記・渡邊宏規通信員】1月28日、ホテル日航立川で多摩西部支部50周年記念式典が開催された。式典は、多摩西部支部長の挨拶で始まり、来賓の国会議員、都議会議員、市議会議員の皆様、関係団体や東京土建の他支部から挨拶をいただきました。



勢揃いする多摩西部の役員の方々の皆さん。代は自分たちの生活の基盤である健康保険などもなく不安定な生活を余儀なくされた時代でした。そんな職人さんたちが立ち上り家族の生活、仲間の権利をと活動に取り組み、遂に保険制度を勝ち取った話、心打たれました。当時組合員の活動も、烈しくなりました。そんな北林さん達を応援したのが、子どもを

会長の北林さんの話がありました。北林さんは支部ができた前からの組合員で、支部書記も歴任されたレジェンドです。若き日の北林さんの時重みを再確認するスタートとなりました。

### 歴史を再確認する式典

## 世田谷 60年の歩み映像で

### 18の地域分会の紹介も

【世田谷・書記・近藤日登美通信員】支部創立60周年を祝し、1月25日京王プラザホテルにて、264人の参加で記念式典及び旗開きを開催しました。今回は60周年を記念して制作された、世田谷支部のこれまでの歩みをまとめた映像を、開会直後に上映し、先輩方から受け継がれてきた歴史の



264人が出席した世田谷の式典

第1部は、支部四役全員が登壇した上で佐久間執行委員長長の挨拶から始まり、本日から宮田中央副執行委員長、来賓の保坂展人世田谷区長をはじめ、世田谷区建設団体防災協議会、世田谷地区労働組合協議会の代表の方よりお祝いの言葉をいただきました。第2部は、鏡割りから始まって、各政党の方々の御祝いの言葉をいただきました。そして、18分会を紹介した映像の上映と、アトラクションとして津軽三味線民謡バンド「あべや」さんによる迫力あるステージに会場が湧きあがりました。上映した映像が大変好評で、60周年としてふさわしい式典となりました。

# 10万5千余の署名提出 高裁内EVにも粉塵被害が

【杉並】 首都圏建設アスベスト訴訟 月14日）が1カ月余に迫り、東京高裁第10民事部への上訴審の東京高裁判決（3月7日、東京高裁前



東京高裁第10民事部への上訴審の署名提出に向かう原告を中心とした参加者の皆さん

で昼休み宣伝と署名提出行動を原告、統一本部、支援組合約50人の参加で行ないました。高裁前を通る人々に行動参加者がチラシを配布する中で、原告団の宮島和男共同代表は「首都圏原告団542人中389人の原告が亡くなっている。生存率は28%。一日も早く被害者救済の基金創設を求め、3月14日の判決勝利を確信してたたかっています」と決意を述べました。複数の弁護士が、東京高裁内のエレベーターでアスベスト粉塵の危険性が明らかになり、使用停止になったなどの事実を紹介しながら、被害は建設労働者にとどまらない社会

## 春闘集会に9000人 松本常任が賃上げで発言

1月30日、2018年国民春闘勝利！総決起集会が行なわれ、9000人（東京土建からは324人の働く仲間が集まりました。昨年のストライキを含む各



東京土建を代表して発言する松本さん

性を持つっていると強調しました。また、埼玉の仲間は2月2日のYAHOOニュースで「救済されない非正規アスベスト被害の一人親方」という記事が配信されたことを述べ、大段裁判長（3月14日の

担当）には「正面から一人親方、事業主も救済する判決を書いてほしい」と訴えました。集会終了後、参加した原告を中心に10万5770筆の公正判決を求める署名を高裁第10民事部に提出しました。

職場でのたたかいを映像で見た後、橋口紀塩国民春闘共闘委員会事務局長が基調報告。安倍改憲策動に終止符を打ち、労働者保護を形骸化させる「働き方改革」に反対するとして、「大企業は過去最高の収益を上げているが、実質的な賃金は上がっていない。すべての働く者の賃上げを要求し、共同を広げてたたかおう」と呼びかけました。各労組、職場から替え歌などをまじえたにぎやかな決意表明が続く中、トリをつとめたのは東京土建の仲間たち。代表して松本久人常任中執がオリピック関連現場での過労自殺、労災事故などを述べながら、年収600万円をめざす賃上げのたたかいを力強く発言しました。

## 昼に事業所訪問 年間の目標を見すえ

### 杉並

【杉並・書記・三澤克巳】杉並支部では、春一番仲間づくりがなかなか目標達成できず、結果として年間目標の達成が厳しくなっています。



事業所の仲間と対話する杉並支部善福寺分会の高橋幸三さん（左）と石川雅昭さん（右）

半日または1日かけて分会内の事業所に訪問を行い、事業所と分会との結びつきを強めることを目的としています。今回は、支部オリジナルのBO Xティッシ

この取り組みは、担当オルグ、分会役員、書記で組を作り、ユ・タオルを手土産に、①新年のあいさつ、②加入対象者

## 聞き取り重視し 仲間づくりイベントも

### 府中国立

【府中国立・書記・水川克治通信員】府中国立支部では、1月の機関会議から、「春一番の目標達成が、年間実増の基礎となる」とことを組合員さんに理解してもらい

ました。また、昨年で大手セネコン下請業者への社保未加入問題はヤマ場を越えましたが、今後は、中堅・地場セネコン・ハウスメーカーの下請業者への波及が考えられ、春一番の行動では、そのあたりも含めて、聞き取りを重視して訪問することを確認しました。脱退対策も重要視しています。年度末に合わせて事業所を退社する人や、独立して起業を考える人も出てくるかも出会う機会を多く設け、仲間づくりに活かしていきます。

もう一回、春一番